

《担当者名》向谷地生良 [ikuyoshi@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

さまざまな領域を巻き込みながら学際的な研究や市民活動として広がりつつある当事者研究について、障害福祉学特論、精神保健福祉を中心としたフィールドで当事者研究の研究と実践を視野に入れながら、当事者研究、オープンダイアログなどのダイアロジカルなアプローチを実際に展開できるように実践と理論検討を重ねる。

【学修目標】

国内外の当事者研究やオープンダイアログを含めたダイアロジカルなアプローチに関連した先行研究や臨床実践を学ぶことを通じて、当事者研究の実践の理論的な基礎を身に着ける
 さまざまな臨床場面で、ファシリテーターとして当事者研究を自由に展開できる

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1 ） 5	精神保健福祉および障がい者領域における当事者研究に関連した先行研究 その1	「みんなの当事者研究」熊谷晋一郎編 金剛出版のプレゼンテーションと討論	向谷地
6 ） 10	精神保健福祉および障がい者領域における当事者研究に関連した先行研究 その2	「当事者研究の研究」石原孝二編 医学書院のプレゼンテーションと討論	向谷地
11 ） 15	当事者研究の実際	当事者研究の研究会および当事者研究の交流会への参加を通じて、ファシリテーターとして当事者研究を展開する	向谷地

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用
 授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

授業への準備状況（10%）プレゼンテーション（40%）討論および実際（50%）

【教科書】

「みんなの当事者研究」熊谷晋一郎編 金剛出版
 「当事者研究の研究」石原孝二編 医学書院

【参考書】

「技法以前」向谷地生良 医学書院
 「精神医学と当事者」向谷地生良、石原孝二、河野哲也編 東京大学出版

【学修の準備】

自らの生活体験からテーマを取り出して「当事者研究」を行う